



アーキテクチャ図

AppSync を使用したフロントエンドのバックエンド



AppSync を使用したフロントエンドのバックエンド: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

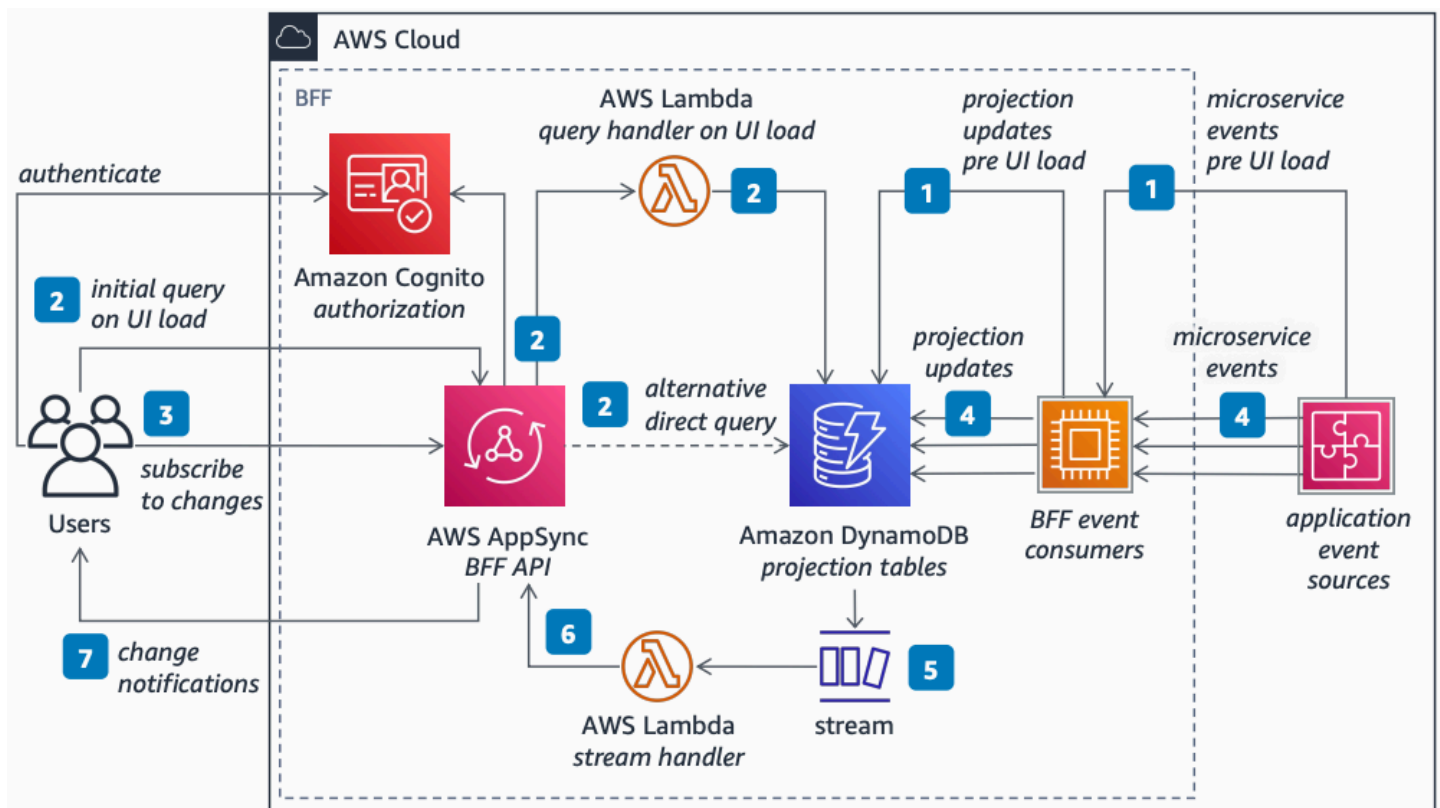
BFF AppSync	i
AppSync を使用したフロントエンドのバックエンド	1
詳細情報	2
図の履歴	2
.....	iv

AppSync を使用したフロントエンドのバックエンド

公開日: 2022 年 5 月 6 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャは、フロントエンドクライアントアプリケーションがバックエンド for Frontend (BFF) パターンを適用して UI 対応データ射影をロードし、イベント駆動型通知で UI を更新する方法を示しています。WebSockets 経由で [Amazon AppSync](#) GraphQL サブスクリプションを使用して、マイクロサービスがドメイン集計のミューテーションに関するイベントを発生させたときにリアルタイムの更新をプッシュします。

AppSync を使用したフロントエンドのバックエンド



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. 専用 BFF イベントコンシューマーは、アプリケーションからイベントをキャッチし、[Amazon DynamoDB](#) でデータの非正規化ビューを保持してフロントエンドを消費します。
2. UI ロードでは、フロントエンドクライアントは [Amazon Cognito](#) で認証し、Amazon AppSync で構築された BFF API を呼び出して GraphQL でデータをクエリします。API は、DynamoDB から直接、またはで構築された BFF クエリハンドラーを介してデータを取得します [AWS Lambda](#)。

3. フロントエンドクライアントは、WebSockets 経由で Amazon AppSync サブスクリプションを使用して後続のデータ変更をサブスクライブします。WebSockets
4. BFF イベントコンシューマーは、アプリケーションからのすべての関連イベントを引き続き処理し、非正規化されたフロントエンドデータビューをリアルタイムで更新します。
5. Amazon DynamoDB Streams は、BFF データベースのデータ変更からすべてのイベントをキャプチャします。Lambda トリガーは、新しいストリームレコードを検出すると、BFF ストリームハンドラー関数を非同期的に呼び出します。
6. BFF ストリームハンドラーは、Amazon AppSync GraphQL スキーマで空のミューテーションを呼び出して、サブスクリプションを強制的にトリガーし、接続されたクライアントに通知を送信します。
7. フロントエンドクライアントは Amazon AppSync から変更通知を受け取り、UI コンテンツを更新します。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 5 月 6 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。